

交通安全の作文で内閣総理大臣賞受賞!!

平成 27 年度 交通安全ファミリー作文コンクール

昭和 54 年より内閣府などの主催により行われている「交通安全ファミリー作文コンクール」。その歴史あるコンクールで、全国 2,835 作品（小学生の部）の中から、大河原南小学校 4 年の加藤由萌さん（住吉町区）の作品が最優秀作品として内閣総理大臣賞を受賞しました。

「自分を守る『交通ルール』」と題した由萌さんの作文は、自身の交通事故にあった体験を通して、「交通ルール」を守ることの大切さを教えてもらったことを、小学生らしさが感じられる中にも説得力のある内容で表現しました。

1 月 15 日には、日比谷公会堂（東京都千代田区）で行われた第 56 回交通安全国民運動中央大会で、萩生田内閣官房副長官より直接表彰を受けました。

なお、受賞作品については <http://www8.cao.go.jp/koutu/keihatsu/h27-sakubun/sakuhin.html> にてご覧いただけます。



▲表彰を受けた日比谷公会堂にて、内閣総理大臣からの賞状を手に記念撮影する由萌さん。

感動と笑いの嵐

AZ9 ジュニア・アクターズ 第 23 回公演「ザオーランド・カウガール」

仙南圏域の小学生（4～6年生）による児童劇団、AZ9ジュニア・アクターズの23回目の公演が、2月13・14日の2日間にわたり、えずこホールにて開催されました。

今年の舞台は蔵王にある牧場ザオーランド。そこで繰り広げられる動物たちと人間の姉弟の心温まるストーリーを、子どもたちは手作りの大道具や衣装に身をまとい、ダイナミックなダンスと歌、コミカルな演技をステージいっぱいに演じました。来場者は子どもたちのエネルギーあふれる舞台に、感動と笑いに包まれたひとときを過ごしました。



▲ステージいっぱいに広がる、エネルギッシュな歌とダンスで感動を呼びました。



▶迫力ある演技で会場を魅了。時にはアドリブで笑いを取る場面も…。



◀アカペラの透き通った歌声が会場に響き渡りました。

新しい総合事業の主な内容

①介護予防・生活支援サービス事業

●介護予防ケアマネジメント

地域包括支援センターの担当者が、一人ひとりの状況に合ったケアプランと一緒に作成します。

●訪問型サービス（ホームヘルプサービス）

利用者が自力では困難な行為について、同居家族の支援などが受けられない場合には、ホームヘルパーによるサービスを提供します。

※従来予防給付として提供されていた介護予防訪問介護が、町の事業として実施するようになりました。

●通所型サービス（デイサービス）

通所介護施設で食事などの基本的サービスや生活行為向上のための支援を行うほか、その人の目標に合わせた選択的サービス（運動機能向上、栄養改善、口腔機能の向上、生活機能向上グループの活動など）を提供します。

※従来予防給付として提供されていた介護予防通所介護が、町の事業として実施するようになりました。

②一般介護予防事業

●住民主体の介護予防活動の育成・支援（地域介護予防活動支援事業）・通いの場の支援として、デイサービスなどを会場に開催します。

●通いの場のなかで、リハビリテーション専門職などによる指導（地域リハビリテーション活動支援事業）を実施

●講演会や出前講座などで介護予防活動の普及・啓発（介護予防普及啓発事業）

その他の町福祉サービスもあります。

【65歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の人対象】

日頃の家事が大変な人⇒軽度生活援助…週1回1時間の家事援助をします。

調理や食材の調達が困難な人⇒配食サービス…週1～2回の弁当のお届けと合わせて安否確認を行います。

詳しくは、健康福祉課高齢福祉係までお問い合わせください。

前ページ※1

介護予防手帳「私のプラン」

機能訓練・運動が重視されてきた介護予防ですが、これからは、本人の毎日の暮らしの支えになるような、気持ちが明るくなるような活動を持つことが大切だとされています。

得意なことを家庭や地域のなかで発揮できる目標を自分で計画するものです。

65歳以上で興味があるかたは、地域包括支援センターまでお問い合わせください。

